

「水平漢字プリンター-15(FMPR5610/5410/5310E)」取扱説明書、 およびオンラインマニュアル(PDF)に関してのお詫びと補足

本プリンタに添付されております取扱説明書、およびオンラインマニュアル(PDF)に記述不足がありましたので、ここに謹んでお詫びを申し上げますとともに、以下のとおり補足修正させていただきます。

取扱説明書、オンラインマニュアル(PDF)共通

ページ	修正内容	
66	「第2章 プリンタの機能とその使いかた」の「ヨウシガイインジボウシ」の機能を、以下のように補足修正します。	
	修正前	用紙の左右端を検出し、印字領域を超えるデータの処理方法を設定します。
	修正後	用紙の左右端を検出し、印字領域を超えるデータの処理方法を設定します。 注) 用紙の左右端を誤検出するプレプリント用紙を使用の場合を除き、本設定は「ユウコウ」(デフォルト)でご使用ください。 「ムコウ」に設定して印字領域を超えるデータを印刷した場合、印字ヘッドピン折れ(ドット抜け)が発生することがあります。
	「第2章 プリンタの機能とその使いかた」の「トラクタインジカトリヨウ」の機能を、以下のように補足修正します。	
	修正前	「ヨウシガイインジボウシ: ユウコウ」時の連帳左右端面印字カット量(余白量)を設定します。
	修正後	「ヨウシガイインジボウシ: ユウコウ」時の連帳左右端部からの印字カット量(余白量)を設定します。 左右端のデータが印刷できない場合に、「10.0mm」に設定しご使用ください。 ただし、10mm 付近にミシン目がある場合、データがミシン目にかかるとう印字ヘッドピンが引っ掛かり折れるため、データはミシン目より用紙の内側にしてください。

※印字ヘッドピン折れ防止のための「用紙外印字防止機能について」を裏面に記載しましたのでよくお読みいただき正しい取り扱いをお願い致します。

—以上—

本紙は取扱説明書の表紙裏のページに挟んで大切に保管してください。

発行日 2007 年 3 月

Copyright© FUJITSU LIMITED 2007

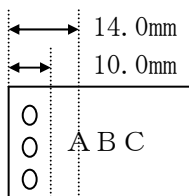
KA02023-Y960

用紙外印字防止機能について

本装置は、印字ヘッドピンを保護するために印字領域を越えた分の印字をカットする（印字しない）「用紙外印字防止機能」を有しております。製品出荷時には「用紙外印字防止機能」は「有効」に設定されていますので、変更せずにそのままの状態でご使用ください。

規格外のプレプリント用紙（禁止領域にプレプリントがある）の場合、用紙の左右端を正しく検出できずに、印字がカットされることがあります。この場合は**規格にあった用紙への変更**をお願いします。用紙変更までの間は、「用紙外印字防止機能」を「無効」に変更してご使用ください。ただし、**セットした用紙の本来の印字領域を超える印字データを受信すると、印字ヘッドピン折れを招きます**ので、用紙の付け替えミス等が無いよう、十分にご注意願います。用紙の変更が終わり次第、「用紙外印字防止機能」を「有効」に戻してください。（→取扱説明書第4章 用紙について 「プレプリント用紙を使用するとき」参照）

また、連帳の縦ミシン目を考慮して、製品出荷時には「トラクタ印字カット量」（左右端の余白量）は「14.0mm」に設定してあります。そのため下図のような印字データでは、「A」の左半分が欠けて印字されますので、この場合は「トラクタ印字カット量」を「10.0mm」に設定してください。ただし、縦ミシン目やとじ穴部分に印字を行なうと印字ヘッドピン折れを招きますので、印字しないようにアプリケーションでの対応をお願いします。



トラクタ印字カット量（左端余白量）が
14.0mm のままではAの左半分が印字されない。
→10.0mm に変更すれば印字される。

なお、印字領域内にとじ穴や、ミシン目がある用紙は印字ヘッドピン折れの原因となりますので使用しないでください。

以上